

平成 27 年度 自己評価結果公表シート

作成 神童幼稚園

1、本園の教育目標

本園は、「平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成」をめざします。毎朝90分間の時間・空間・仲間・ゆとりの間を保障した「のびのび充実保育」を通して自立・自律心を養い、幼児の興味関心に沿った遊びや生活を展開し、仲間との協同の活動に発展する保育をめざします。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼保で教育観、保育観を共有する
- ・幼保連携型こども園として各種マニュアルの整備
- ・園児が過ごしやすい保育室環境の整備

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
キンダー(3～5歳児)、ナースリー(0～2歳児)両部門で教育観、保育観を共有する	園長、副園長、教頭、主幹保育教諭、給食担当者によるリーダー調整会議を通してキンダー、ナースリー部門間での教育保育内容の共有や勤務体制のあり方の検討を進めた。
保育教諭の資質向上と評価方法の策定	ちやいんどネットや豊中市、大阪府の私幼団体主催の研修会への職員参加を進めることが出来た。 保育評価方法策定に向けて大私幼教育研究所プロジェクトに副園長が参画し研究を行った。
・園児が過ごしやすい保育室環境の整備	キンダー各保育室(10室)に教材整理棚を、3歳児保育室(4室)に絵本棚を整備した。またホール(2階遊戯室)の床材を天然木へ改装し素足で運動できる環境を実現した。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成27年度は幼保連携型認定こども園への移行初年度で、人的環境面で、元幼稚園、元保育園の職員間での意識や保育教育観、勤務体制の違いが改めて浮き彫りになり、単年度での意識の共有や体制の共通化は実現できなかった。一方、物的環境では制度移行による財務面の不安も払拭されたことで着実に整備することができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
キンダー、ナースリー両部門で教育保育観の共有をはかる	最長6年に及ぶ園児の発達課程を共通理解すること、及び、教育保育計画を全保育教育担当職員が参画して協議できる会議を設ける。
幼保連携型こども園として各種マニュアルの整備を更に進める	園内の保育環境スケール、衛生対応マニュアル等を整備する。
災害対策として食料等備蓄を進める	ローリングストック法による保存食料と非常食を計画的に備蓄する。

6、財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められています。

以上